

何人責任

現下の紛争

昨七月十三日で発行の桑港ブルーテン新聞が太田總領事の「無政府主義者」問題に就て社説を掲げたは別項雑報欄の如し。

内容は日本總領事の如きは、

本邦人多數は無政府主義者なり

と確信したる以上は、新たに有

問題の起りだるは日本人間に

力なる排日の論議を得たりと

云ふ程のものなり。

日本人問題の

調査も始ま、時局一層重大な

問題の起りだるは日本人間に

起りたるは、何人も遺憾とする

處なるも、太田總領事が自ら

此時機を逃びだるものなるを余

何せん。

（一ヶ月前太田總領事は、

米日會の神崎太郎氏

も其に、時局重大なる今日斯

の不徳策なる

を忠言したれども太田總領事

は断乎として改革決意を主張し

之が爲めに時局には何等の影響

無く、假りに多少影響したり

て憂ふるに及ばず極言したり

右の事實は、般の消息を解する

ものより。次に無政府主義者

の辭職となる、在日會に對する

桑日處分の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なしとい

る事は、太田總領事が吉氏に追

士井慶吉氏に追つたるが、

此時の辭職となる、在日會に對する

何せん。

（桑日會の公文書となり

の回答となり、桑日會の通

有志大會の更迭希望決議とな

り、總領事の無政府主義者

なるものにて、時機に就ての

責任は全然

太田總領事に在り

即ち氏が時局に影響なし

米國の向ふを張つた 日本の國勢調査

名前ご費用に對しても恥じ

個人の能力や衛生體育事項閑却

粗製濫造

人口調査だけ

衛生上に最

内容を見ると國勢調査は少し

半期して愈々國勢調査をする

事に至つて居る處で記入項目

調査がある

身分位は調査は少し

ねが國勢調査と名附相當

費用をかける以上調査内容が充

分行き亘つて居なければなら

然るに國勢院のやり方では各個

技術が修業せられて居るか一

向不眞従つて個人の意見が

國勢院の意見が

文部省の調べで大體の見當

が附くとしても假に外國に自

習した人の調べが附かぬ又

個人の職業會

身分位は調査は少し

ねが國勢調査と名附相當

費用をかける以上調査内容が充

分行き亘つて居なければなら

然るに國勢院のやり方では各個

技術が修業せられて居るか一

向不眞従つて個人の意見が

國勢院の意見が

文部省の調べで大體の見當

が附くとしても假に外國に自

習した人の調べが附かぬ又

個人の職業會

身分位は調査は少し

ねが國勢調査と名附相當

費用をかける以上調査内容が充

分行き亘つて居なければなら

然るに國勢院のやり方では各個

技術が修業せられて居るか一

向不眞従つて個人の意見が

國勢院の意見が

文部省の調べで大體の見當

が附くとしても假に外國に自

習した人の調べが附かぬ又

個人の職業會

身分位は調査は少し

ねが國勢調査と名附相當

費用をかける以上調査内容が充

分行き亘つて居なければなら

然るに國勢院のやり方では各個

技術が修業せられて居るか一

向不眞従つて個人の意見が

國勢院の意見が

文部省の調べで大體の見當

が附くとしても假に外國に自

習した人の調べが附かぬ又

個人の職業會

身分位は調査は少し

▼説明

に努めたり尙ほ同

近日改めて企起人會を開き各種

云はざらうがな

て改めて企起人會を開き各種

云はざらうがな

て改めて企起人會を開き各種

云はざらうがな

て改めて企起人會を開き各種

云はざらうがな

て改めて企起人會を開き各種

米國の向ふを張つた
日本の國勢調査

粗製濫造

日本運賃戰

江戸子の足

不自由な

紳士盜賊の正體

サンノゼ市の強盗騒ぎ

瓦斯と電氣

米陸軍の招待

米國の招待

◆ 緑肥 豆科植物

二

◆ 時局は心機一轉の好機會

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

未だ十二の石田芳子嬢

夢も尼港の團樂に通はん

父も母も可憐の妹も今は「」

いじり

可憐しかも彼女の夢には今尚温

い嬉しい團樂のみが絶えられる

京波す限り廣漠たる西比利の嘆

野其一角を豊く領したニ港の我

領事館に父を慕ふて幾千哩海を

渡り山河を越へて十日漸くの

事で母と妹と千葉縣生の女中さ

彼女が浦鹽からモスコ更に

此尼港に轉任し

た父の笑顔に接

した其慈しさ其後一年間雪國の

歳の少女をからも胸深く刻まれ

てゐる記者は本郷弓町の石田領

事留宅を訪ねて今は唯一人の

遺孤となつた此芳子さんの

かな彼女の微笑を見つける親戚の

誰彼は領事の母堂き子を取閑

卓に持て来て其麗しい紅色に

雪の砂糖を染めながら味つた嬉

れしさは三年後の今尚未だ十三

歳の少女をからも胸深く刻まれ

てゐる記者は本郷弓町の石田領

事留宅を訪ねて今は唯一人の

遺孤となつた此芳子さんの

かな彼女の微笑を見つける親戚の

誰彼は領事の母堂き子を取閑

卓に持て来て其麗しい紅色に

雪の砂糖を染めながら味つた嬉

れしさは三年後の今尚未だ十三

歳の少女をからも胸深く刻まれ

てゐる記者は本郷弓町の石田領

事留宅を訪ねて今は唯一人の

遺孤となつた此芳子さんの

かな彼女の微笑を見つける親戚の

誰彼は領事の母堂き子を取閑

卓に持て来て其麗しい紅色に

雪の砂糖を染めながら味つた嬉

れしさは三年後の今尚未だ十三

歳の少女をからも胸深く刻まれ

てゐる記者は本郷弓町の石田領

事留宅を訪ねて今は唯一人の

遺孤となつた此芳子さんの

かな彼女の微笑を見つける親戚の

誰彼は領事の母堂き子を取閑

卓に持て来て其麗しい紅色に

雪の砂糖を染めながら味つた嬉

れしさは三年後の今尚未だ十三

歳の少女をからも胸深く刻まれ

てゐる記者は本郷弓町の石田領

事留宅を訪ねて今は唯一人の

遺孤となつた此芳子さんの

かな彼女の微笑を見つける親戚の

誰彼は領事の母堂き子を取閑

軍刀獻上

月山作の名刀

北白川宮へ

悟道軒圓玉演

佐賀の夜櫻

八日 敵討の場所を借用

悟道軒圓玉演

北白川宮へ

悟道軒圓玉演

極北の天地に響く

米大使の辭職

六月十八日

けよこばかりに▲

不景氣は勧債にも崇つた

半分

